# 2024年2月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年10月4日

上 場 会 社 名 株式会社サトウ産業

上場取引所東

コード番号 3450 URL https://www.sato-san.jp/

代 表 者 (役職名) 代表取締役 (氏名)佐藤明郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 大野智美 TEL (025) 520-2288

中間発行者情報提出予定日 2023年11月20日 配当支払開始予定日 —

中間決算補足説明資料作成の有無: 無中間決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年2月期中間期の業績(2023年2月21日~2023年8月20日)

#### (1)経営成績

(%表示は対前期同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常	7利益	中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年 2 月期中間期	2, 779	55. 7	△152	_	△151	_	△184	_
2023年2月期中間期	1, 785	25. 3	57	△76.4	58	△76.5	37	△83.3

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年 2 月期中間期	△490. 60	_
2023年2月期中間期	100. 50	-

- (注1) 2024年2月期中間期は、潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式が存在せず、また1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。
- (注2) 2023年2月期中間期は、潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 財政状態

( - / //1-// // // // // // // // // // // // //				
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期中間期	2, 299	466	20. 3	1, 241. 27
2023年2月期	2, 503	651	26. 0	1, 731. 88

 <sup>(</sup>参考) 自己資本
 2024年2月期中間期
 466
 百万円
 2023年2月期
 651
 百万円

### 2. 配当の状況

		年間配当金						
	中間	期末	合計					
	円 銭	円 銭	円 銭					
2022年2月期	0. 00	50.00	50.00					
2023年2月期	0. 00	0. 00	0.00					
2024年2月期(予想)	0.00	0. 00	0.00					

<sup>(</sup>注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

# 3. 2024年2月期の業績予想(2023年2月21日~2024年2月20日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	4, 134	37. 1	109	—	118	—	74	—	197.85

<sup>(</sup>注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

#### ※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更:無② ①以外の会計方針の変更:無③ 会計上の見積りの変更:無④ 修正再表示:無

## (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2024年2月期中間期	376, 000株	2023年2月期	376, 000株
2024年2月期中間期	0株	2023年2月期	0株
2024年2月期中間期	376, 000株	2023年2月期中間期	376, 000株

- ※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信(添付資料)3ページの「1.当中間決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1.当中間決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	7
(3) 中間株主資本等変動計算書	8
(4) 中間キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 中間財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(MILKIT OF SOME OF COME OF LEMP)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

2023年2月期の発行者情報に、「製作工程遅れの物件が複数重なったことから自社での全品製作が物理的に不可能となり、当初想定していなかった外部委託をせざるを得ず、結果外部委託に係る費用が発生しました。これらのことから営業損失を計上することになりました。」との記述を致しました。

製作工程は、現場サイドの事情に起因するところが多いため、当社内部での対応には限界があります。今回は、規模的にも、金額的にも大きい物件が重なったため、製作期間も長期に渡るものでした。故に、引き続き予定されていた物件の製作期間にも食い込み、結果的に、こちらも外部委託せざるを得なくなり、負担が増えました。これにより、売上原価が当初よりも多額にかかったことで本中間決算に於いては、営業損失を計上することに至りました。

これらのことから、当中間会計決算は以下の通りであります。

当中間会計期間の売上高は2,779,991千円(前年同期比55.7%増)、営業損失は152,577千円(前年同期営業利益は57,856千円)、経常損失は151,772千円(前年同期経常利益は58,822千円)、中間純損失は184,467千円(前年同期中間純利益は37,790千円)となりました。

なお、当社は鉄工建設事業の単一セグメントのため、セグメント別の開示は行っておりません。

#### (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間の財政状態につきましては、次のとおりです。

#### (資産の部)

資産合計は2,299,085千円(前事業年度末比204,468千円減)となりました。流動資産につきましては、1,304,422千円(前事業年度末比215,979千円減)となりました。これは主に、棚卸資産の減少470,268千円等によるものです。固定資産につきましては、994,663千円(前事業年度末比11,510千円増)となりました。これは主に、保険積立金の増加21,564千円等によるものです。

#### (負債の部)

負債合計は1,832,364千円(前事業年度末比20,001千円減)となりました。流動負債につきましては、1,549,496千円(前事業年度末比12,185千円増)となりました。これは主に、電子記録債務の増加193,664千円、買掛金の増加205,003千円、契約負債の減少447,783千円等によるものです。固定負債につきましては、282,868千円(前事業年度末比32,187千円減)となりました。これは、長期借入金の減少62,026千円等によるものです。

### (純資産の部)

純資産合計につきましては466,721千円(前事業年度末比184,467千円減)となりました。これは主に、繰越利益剰余金の減少186,561千円等によるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の残高は253,658千円(前事業年度末比56,207千円増)となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は174,943千円となりました。これは主に、売上債権の増加313,796千円及び契約負債の減少447,783千円による資金の減少があった一方で、仕入債務の増加406,759千円及び棚卸資産の減少470,268千円による資金の増加があったことによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は43,060千円となりました。これは主に、保険積立金の積立による支出21,564 千円等によるものです。

# (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は75,676千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出75,676千円によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

原材料価格の高騰等を今後得意先と価格改定を実施する予定であり、その程度によっては、当期の業績に影響を与えます。

8月20日現在、社内の体制はようやく平時に戻ってまいりました。これから製作する物件については、当社の製作工程に影響を与えるような外部要因はなく、概ね順調に製作が進むと思われます。

また、請負単価も上向きであり、今までの『負』を取り戻すべく、原価管理、工程管理を徹底してまいります。設備投資としては、11月より三和梁加工場に柱梁溶接ロボットシステムを2基導入稼働させることにより、外注溶接工の削減と合わせて、生産性の向上に期待しております。

これらを含めて、2023年度事業計画を練り直し、2024年2月期の最終決算予想を立てる所存です。

このような環境の中、2024年2月期の通期の業績見通しにつきましては、売上高4,134,254千円(前年同期比37.1%増)、営業利益109,582千円(前年同期営業損失は68,548千円)、経常利益118,082千円(前年同期経常損失は66,199千円)、当期純利益74,392千円(前年同期当期純損失は78,644千円)を予想しております。

# 2. 中間財務諸表及び主な注記

# (1) 中間貸借対照表

		(単位:千円)
	前事業年度 (2023年2月20日)	当中間会計期間 (2023 年 8 月 20 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	477, 062	550, 670
電子記録債権	836	111,650
売掛金	3, 880	206, 863
商品及び製品	275, 358	118, 531
仕掛品	532, 652	247, 288
原材料及び貯蔵品	87, 029	56, 409
未成工事支出金	1,037	3, 581
前払費用	5, 940	5, 940
その他	136, 604	3, 488
流動資産合計	1, 520, 401	1, 304, 422
固定資産		
有形固定資産		
建物	649, 826	649, 826
減価償却累計額	△202, 637	△230, 941
建物(純額)	429, 189	418, 885
構築物	16, 630	16, 630
減価償却累計額	△6, 850	△7, 238
構築物(純額)	9,779	9, 391
機械及び装置	489, 187	512, 337
減価償却累計額	△309, 245	△328, 188
機械及び装置(純額)	179, 942	184, 149
車両運搬具	69, 063	61, 387
減価償却累計額	$\triangle 49,768$	△46, 183
車両運搬具(純額)	19, 294	15, 204
工具、器具及び備品	14, 886	16, 132
減価償却累計額	$\triangle 11,674$	$\triangle 12,353$
工具、器具及び備品(純額)	3, 212	3, 778
土地	265, 737	265, 737
リース資産	3, 250	13, 546
減価償却累計額	△348	△723
リース資産 (純額)	2, 902	12,823
建設仮勘定		2, 764
有形固定資産合計	910, 058	912, 734
無形固定資産		·
ソフトウェア	8, 678	8, 455
その他	0	0
	8,678	8, 455

投資その他の資産		
出資金	2, 139	2, 239
長期前払費用	172	135
繰延税金資産	12,570	_
その他	49, 534	71, 098
投資その他の資産合計	64, 415	73, 473
固定資産合計	983, 152	994, 663
資産合計	2, 503, 554	2, 299, 085

(単位: 千円)

		(単位:千円	
	前事業年度 (2023年2月20日)	当中間会計期間 (2023年8月20日)	
負債の部			
流動負債			
支払手形	73, 889	82, 747	
電子記録債務	315, 911	509, 575	
買掛金	385, 443	590, 447	
1年内返済予定の長期借入金	142, 164	128, 514	
リース債務	510	2, 555	
未払金	42, 560	50, 675	
未払費用	1,800	1, 875	
未払法人税等	_	25	
未払消費税等	_	51,918	
契約負債	559, 652	111, 869	
預り金	3, 378	6, 792	
賞与引当金	12,000	12, 500	
流動負債合計	1, 537, 310	1, 549, 496	
固定負債			
長期借入金	312, 374	250, 348	
リース債務	2,681	11,707	
繰延税金負債	_	20, 813	
固定負債合計	315, 055	282, 868	
負債合計	1, 852, 366	1, 832, 364	
純資産の部		· · ·	
株主資本			
資本金	100, 000	100, 000	
利益剰余金	•	,	
利益準備金	2, 230	2, 230	
その他利益剰余金			
土地圧縮積立金	6, 537	6, 537	
特別償却準備金	31, 306	33, 400	
繰越利益剰余金	511, 114	324, 553	
利益剰余金合計	551, 188	366, 721	
株主資本合計	651, 188	466, 723	
純資産合計	651, 188	466, 723	
7 UM / H FI		100, 121	

# (2) 中間損益計算書

		(単位:千円)
	前中間会計期間 (自 2022年2月21日 至 2022年8月20日)	当中間会計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年8月20日)
売上高	1, 785, 091	2,779,991
売上原価	1, 560, 591	2, 752, 713
売上総利益	224, 500	27, 278
販売費及び一般管理費	166, 643	179, 855
営業利益又は営業損失(△)	57, 856	△152, 577
営業外収益		△102, 011
受取利息	5	2
受取配当金	1	1
仕入割引	_	95
助成金収入	1,530	1, 997
保険金収入	_	256
還付加算金	_	605
その他	447	141
営業外収益合計	1, 985	3, 100
営業外費用	<u></u>	·
支払利息	619	585
手形壳却損	399	1,702
その他	_	6
営業外費用合計	1,019	2, 294
経常利益又は経常損失(△)	58, 822	△151, 772
特別利益	·	,
固定資産売却益	3, 082	798
特別利益合計	3, 082	798
特別損失		
固定資産除却損	_	9
完成工事補償引当金繰入額	5, 012	_
特別損失合計	5, 012	9
党引前中間純利益又は税引前中間純損失 (△)	56, 893	△150, 983
法人税、住民税及び事業税	21, 782	100
<b>去人税等調整額</b>	$\triangle 2,680$	33, 383
法人税等合計	19, 102	33, 483
中間純利益又は中間純損失(△)	37, 790	△184, 467

# (3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2022年2月21日 至 2022年8月20日)

(単位:千円)

				利益剰余				
	資本金	利益	そ	の他利益剰会	余金	利益剰余金	株主資本	純資産
	貝平並	準備	土地圧縮	特別償却	繰越利益	合計	合計	合計
		金	積立金	準備金	剰余金			
当期首残高	100, 000	350	6, 537	11,820	629, 925	648, 633	748, 633	748, 633
当中間期変動額								
剰余金の配当		1,880			△20, 680	△18,800	△18,800	△18, 800
中間純利益					37, 790	37, 790	37, 790	37, 790
特別償却準備金				1, 933	△1, 933	_	_	_
の積立て								
特別償却準備金				△1, 162	1, 162	_	_	_
の取崩し								
当中間期変動額	_	1,880	_	770	16, 340	18, 990	18, 990	18, 990
合計								
当中間期末残高	100,000	2, 230	6, 537	12, 590	646, 266	667, 624	767, 624	767, 624

当中間会計期間(自 2023年2月21日 至 2023年8月20日)

(単位:千円)

	株主資本							
			利益剰余金					
	グナム	利益	その他利益剰余金			利益剰余金	株主資本	純資産
	資本金	準備	土地圧縮	特別償却	繰越利益	合計	合計	合計
		金	積立金	準備金	剰余金			
当期首残高	100, 000	2, 230	6, 537	31, 306	511, 114	551, 188	651, 188	651, 188
当中間期変動額								
中間純損失(△)					△184, 467	△184, 467	△184, 467	△184, 467
特別償却準備金				4, 831	△4, 831	_	_	_
の積立て								
特別償却準備金				△2, 738	2, 738	_	_	_
の取崩し								
当中間期変動額	_	_	_	2, 093	△186, 561	△184, 467	△184, 467	△184, 467
合計								
当中間期末残高	100,000	2, 230	6, 537	33, 400	324, 553	366, 721	466, 721	466, 721

# (4) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間	(単位:千円) 当中間会計期間
	(自 2022年2月21日 至 2022年8月20日)	(自 2023年2月21日 至 2023年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u> </u>	<u> </u>
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	56, 893	△150, 983
減価償却費	24, 146	36, 503
賞与引当金の増減額(減少は△)	21, 110 	50, 500
工事損失引当金の増減額(減少は△)	22, 905	_
元ず頃入り日並の塩減額(減少は△)	5, 012	_
元成工事情順列目並の指機領(減少は公) 受取利息及び受取配当金	5, 012 △7	<b>^</b>
		△: △1.07
助成金収入	$\triangle 1,530$	△1, 97
保険金収入		△25
還付加算金	_	△60
支払利息	619	58
有形固定資産売却益	$\triangle 3,082$	△79
固定資産除却損	_	,
売上債権の増減額(増加は△)	213, 543	△313, 79
棚卸資産の増減額(増加は△)	74, 485	470, 26
仕入債務の増減額(減少は△)	△192, 668	406, 75
契約負債の増減額(減少は△)	$\triangle 115,268$	△447, 78
その他	△30,071	133, 44
小計	54, 975	131, 87
利息及び配当金の受取額	7	
利息の支払額	△619	△58
助成金の受入れによる収入	1,530	1, 97
助成金の返還による支出	_	△16, 86
保険金受取による収入	_	25
補償金受取による収入	_	1, 65
還付加算金受取による収入	_	60
法人税等の還付額	_	56, 02
法人税等の支払額	$\triangle$ 95, 702	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39, 808	174, 94
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	$\triangle 26,402$	$\triangle 17,40$
定期預金の払戻による収入	28, 204	_ ,
有形固定資産の取得による支出	△151, 760	$\triangle 3, 39$
有形固定資産の売却による収入	3, 082	∠s, ss 79.
保険積立金の積立による支出	$\triangle 21,519$	$\triangle 21,56$
その他	240	$\triangle 1,50$
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168, 155	$\triangle 43,06$
<b>収負値動によるキャッシュ・フロー</b> 財務活動によるキャッシュ・フロー	△100, 100	△45,00
		000.00
短期借入れによる収入	_	220, 00
短期借入金の返済による支出	<del>-</del>	△220, 00

長期借入れによる収入	200, 000	_
長期借入金の返済による支出	$\triangle 64,932$	$\triangle 75,676$
配当金の支払額	△18, 800	_
財務活動によるキャッシュ・フロー	116, 267	$\triangle 75,676$
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	△91, 696	56, 207
現金及び現金同等物の期首残高	336, 685	197, 451
現金及び現金同等物の中間期末残高	244, 989	253, 658

## (5) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

### (セグメント情報)

当社は鉄工建設事業の単一セグメントのため、セグメント別の開示は行っておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。